

薬屋談義

尋常小学校の「尋常」は何を意味したのか

ベルリンの壁が崩壊して二〇年。冷戦構造が崩れ、世界経済も一変しました。国民総生産では、今や中国が我が国を抜くところまで経済成長を遂げました。

中国は、オリンピックの開催に続いて、こんどは上海万博と、経済成長のあかしを世界に誇示しております。

一方、わが国では、身に覚えの無い国民負担の国の借金や、年金がほんとうにもらえるのかの不安等で、先行きに対する希望の持てない、人心の荒廃をまねいています。

昔、小学校が尋常小学

校と呼ばれた時代がありました。

この尋常小学校の「尋常」とは、いつ、如何なることがあっても、平常心をもって対処できる人材を育成することを目標にしたからです。

何があっても慌てふためかない冷静な対応ができる「胆」を養うことにあり、マニュアル想定外の事態にも、迅速で冷静な対応を目指すものです。**視点と座標軸を少し変えてみては如何?**

犬は「ワン」。そして「ワン」と倒れること「犬の卒倒」といいます。「ワンパターン」からは「ワンパターン」からは新たな展開の糸口が出て来ません。

困難な状況の打破は、今までとは異なる物の見

「犬の卒倒」では解決糸口つかめない

方や考え方で、意外と簡単に解決できる場合があります。

「常識」という枠を外してみると、様々な打開策のアイデアが出て来るものです。

『臨済録』に「随所に主となれば、立処皆真なり」



との言葉がありますが、

「窮すれば変ず、変ずれば通ず」とある通り、頑（かたく）なにワンパターンで押し通そうとして困難なことであっても、少し視点や座標軸をズラしてみれば、無限に打開策は出て来るものです。

いまは国も地方も財政

難。公共事業も削減されて景気の先行きも決して明るくはありませんが、だから私が貧乏になると決まったわけではありません。

「配置」で一家を支える若い人たちは考えて

価格競争の激化の中に

やわらかな発想で切り開かれる世界そのI

連載 5

なにわの漢方薬3代目主人

あっても、視点や座標軸をちょっとズラしてみれば通ず」とある通り、頑（かたく）なにワンパターンで押し通そうとして困難なことであっても、少し視点や座標軸をズラしてみれば、無限に打開策は出て来るものです。

エルメスやシャネルなどの高級ブランドの専門

く健在です。

弱点でなく『配置の強み』を考えて

全国展開する家電量販

店とテレビショッピングの攻勢により、従来の町の家電店が大打撃を受けています。

とは言うものの、同じものを商う場合、経費率が低い業態は、その経費率に粗利を載せれば充分に利益が確保出来ます。

しかし、固定費が高い業態が、同じ商品を同じように扱った場合は価格で負けて売れません。

けれども、お客様が自身では出来ない何らかの工事等を付加すれば、納得して高くても購入する顧客層が必ずあります。

お金が勿体なくて、セルフで処理する層もあれば、面倒なことはお金を

払ってでもお任せしてだれかにやって貰いたいという層があるように、配置薬を利用するメインの層はどのような層であり、今後どのタイプの顧客層を伸ばしていこうと考えているのか、そして、その層に、よりもたらされる利益とその層が求める満足を確認していくことが大切と考えます。

コストの削減はいつの時代でも、あらゆるビジネスでの課題ではありません。

もし、トコトン経費率を引き下げて粗利益率が成り立つビジネスを志向するならば、経費率を押し上げていく要因の上位3位までを、上から順番に大胆に切り込み、カットする必要があるのでしょ

う。

粗利益の率と額が共に

大きな顧客の獲得を目指すならば、その顧客を増やす工夫、そして満足を与える工夫が必要になります。

弱点や欠点に目が行き易いのが一般的ですが、再度『配置の強み』について考えてみては如何でしょうか。

今ある商品を、今までの顧客に、今まで通り販売していく一では、市場が小さくなる時代に発展の要素はありません。

これから、「配置」で得た収入により、子供を育て一家を支えていこうと考える若手の配置員さんにとって、やわらかな発想で時代を切り開いていくことが、とても大切だと考えます。

(永井達夫 東洋漢方製薬株式会社代表取締役社長)

長)